

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)

【公開番号】特開 2002-148077 (P2002-148077A)

【公開日】平成 14 年 5 月 22 日 (2002.5.22)

【出願番号】特願 2001-265202 (P2001-265202)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 D 11/00

F 0 2 D 35/00

F 0 2 D 45/00

G 0 1 D 18/00

G 0 1 F 1/68

G 0 1 F 1/684

【F I】

G 0 1 D 11/00 1 0 1 Z

F 0 2 D 45/00 3 6 6 B

G 0 1 D 18/00

G 0 1 F 1/68 A

G 0 1 F 1/68 1 0 1 Z

F 0 2 D 35/00 3 6 6 E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 7 月 22 日 (2003.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】発熱抵抗式空気流量測定装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発熱抵抗体と、

前記発熱抵抗体と電氣的に接続され、前記発熱抵抗体の加熱制御あるいは検出量を電気信号として処理する電子回路と、

前記電子回路を内装保護するハウジングと、

前記ハウジングにより形成された曲がり部を有する副通路と、

を備え、

前記発熱抵抗体が前記副通路中に設置され、

前記副通路中と前記電子回路が主通路中に設置される発熱抵抗式空気流量測定装置であって、

片端が前記電子回路と電氣的に接続され、他端が前記ハウジングを貫通して前記主通路の外側に至る調整端子を備え、

前記電子回路が前記調整端子を介して入力された電気信号により調整可能であることを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。

**【請求項 2】**

請求項 1 において、

前記片端は金属ワイヤを介して前記電子回路に接続されていることを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。

**【請求項 3】**

請求項 1 または 2 において、

前記電子回路の信号を外部へ出力するための出力端子を備え、

前記ハウジングは、前記調整端子と前記出力端子とをインサート成形したプラスチックであることを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 から 3 のいずれかにおいて、

前記電子回路が内装保護された空間にはシリコンゲルが充填され、

カバーを接着することによって、前記電子回路が換気孔以外で密封されることを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。

**【請求項 5】**

請求項 3 において、

前記ハウジングには、外部コネクタが接続可能なコネクタが形成され、

前記コネクタ内には、前記出力端子と前記調整端子が外部コネクタから接触可能に配置され、かつ、前記調整端子はコネクタの底面の穴の中に設けられたことを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。

**【請求項 6】**

請求項 1 から 5 のいずれかにおいて、

前記電子回路には出力特性調整回路と制御量調整回路とが設けられたことを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。

**【請求項 7】**

請求項 6 において、

印加された電気信号により、前記調整端子と前記出力特性調整回路と前記制御量調整回路と間の伝送系を切り替える切り替え手段が設けられたことを特徴とする発熱抵抗式空気流量測定装置。